

2025 年 8 月 8 日

株式会社日本政策投資銀行が発行する トランジションボンドへの投資について

奥州市(代表者名:奥州市長 倉成 淳、以下「当市」という)は、このたび、株式会社日本政策投資銀行(以下、「同行」という)が発行するトランジションボンドへの投資を決定しましたので、お知らせします。

「トランジションボンド」とは、気候変動リスクへの対策を検討している主体が、脱炭素社会の実現に向けて、パリ協定に整合的な目標設定を行い、長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取組を行っている場合に、その戦略や実践に対する信頼性等を根拠に発行される債券のことであり、グリーンボンドやサステナビリティボンド等とともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。

同行は、他者の脱炭素に向けたトランジションを可能にするための投融資を含む活動の原資を調達する主体(Enabler)として、トランジションボンドを発行しており、同行のトランジションボンド・フレームワークは、国際資本市場協会(ICMA: International Capital Market Association)が定める「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」等に適合する旨、株式会社日本格付研究所から第三者評価を取得しております。

トランジションボンド発行による調達資金は、トランジション・ファイナンスとしての適格性について第三者評価を取得したトランジションローン及び／又はトランジション・リンク・ローンに充当され、脱炭素に向けた社会のトランジションに活用されます。

当市は、本債券をはじめとしたESG投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<債券の概要>

銘 柄	株式会社日本政策投資銀行第 204 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(トランジションボンド)
年 限	2 年
発行額	100 億円
発行日	2025 年 8 月 22 日

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと